

新南陽市民病院の公立病院経営強化 プランについて

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

① 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能

記載のポイント

- **地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能**について記載する。
- 地域医療構想における推計年である**令和7年（2025年）及びプラン最終年度における機能ごとの病床数や、病床機能の見直しを行う場合はその概要**を記載する。

記載内容（P6～7）

- 地域医療構想等を踏まえた新南陽市民病院の果たすべき役割
 - ◆ 周南西部地域の中核的な二次医療機関として、急性期医療などの質の高い医療を提供する役割
 - ◆ 地域包括ケア病床を有する病院として、介護老人保健施設、訪問看護ステーション等と連携・協力し地域包括ケアシステムにおける中心的な役割
 - ◆ 疾患別地域連携パスを活用し、地域における病病・病診の医療連携を強化する役割
 - ◆ 二次救急医療に係る病院群輪番制病院としての役割 など

病床機能	計 画	
	令和7年度	令和9年度
急性期（床）	100	100
回復期（床）	50	50
合 計（床）	150	150

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

②地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

記載のポイント

- **地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能**について記載する。

記載内容 (P7)

- 救急患者、近隣の診療所や高度急性期病院からの紹介患者などを積極的に受け入れ、市民病院がもつ急性期、回復期（地域包括ケア病床）の機能を活用し、在宅（訪問看護）へと切れ目のない医療を提供していく。
- さらに、市民病院の訪問看護ステーションによる、退院患者に対する訪問看護サービスの提供のほか、地域住民の健康増進、疾病の早期発見と早期措置及び疾病の再発防止のための健康診断業務を担う。

③機能分化・連携強化の取組

記載のポイント

- 地域全体で持続可能な地域医療提供体制を確保するために必要な**機能分化・連携強化の取組の概要と講じる具体的な措置**について記載する。

記載内容 (P7)

- 疾患別地域連携パスの活用等により、基幹病院や開業医との連携を推進することや、市内の基幹病院等と連携し、周南市の中山間地域の医師確保対策など、地域医療体制の確保に努める。

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

④ 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

参考

記載のポイント

○ 病院の果たすべき役割に沿った、質の高い医療機能を十分に発揮するとともに、地域において他の病院等との連携を強化しているかを検証する観点から、以下の例示などを踏まえ、適切な数値目標を設定する。

1) 医療機能に係るもの

地域救急貢献率、手術件数、訪問診療・看護件数、リハビリ件数、地域分娩貢献率など

2) 医療の質に係るもの

患者満足度、在宅復帰率、クリニカルパス使用率など

3) 連携の強化等に係るもの

医師派遣等件数、紹介率・逆紹介率など

4) その他

臨床研修医の受入件数、地域医療研修の受入件数、健康・医療相談件数など

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

参考

④ 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

記載内容 (P7~8)

1) 医療機能に係るもの

	計画			
	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
救急搬送患者数 (人)	990	1,035	1,080	1,125
手術件数 (件)	633	639	645	650
リハビリ単位数 (単位)	48,693	53,462	58,231	63,000
化学療法 (レジメン件数) (件) ※1	173	182	191	200

※1 化学療法は総合入院体制加算の施設基準に係る化学療法件数

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

④ 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

記載内容 (P7~8)

2) 医療の質に係るもの

	計画			
	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
在宅復帰・病床機能連携率 (一般病棟)(%) ※2	92.2	92.2	92.2	92.2
在宅復帰率 (地域ケア病棟)(%)	83.9	84.3	84.7	85.0
重症度、医療看護必要度 (一般病棟)(%) ※3	22.5	24.3	26.2	28.0
重症度、医療看護必要度 (地域ケア病棟)(%) ※4	18.5	20.7	22.9	25.0

※2 退院患者数のうち、自宅等に復帰する患者の割合

※3 令和4年度基本診療料の施設基準、一般病棟用の重症度、医療看護必要度Ⅱを満たす患者の割合

※4 令和4年度基本診療料の施設基準、地域包括ケア病棟入院料の施設基準に係る一般病棟用の重症度、医療看護必要度Ⅱを満たす患者の割合。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の専用病床としたため異常値となっており、目標値は他年度の数値をもとに設定。

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

参考

④ 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

記載内容 (P7~8)

3) 連携の強化等に係るもの

	計画			
	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
紹介率 (%) ※5	53.8	57.6	61.3	65.0
逆紹介率 (%) ※6	59.7	59.8	59.9	60.0
共同利用の実績(CT,MRI)(件)	127	133	139	145
地域サポート率 (%) ※7	31.7	32.8	33.9	35.0
患者相談件数 (件)	8,205	8,387	8,569	8,750

※5 初診患者のうち、紹介状持参者又は救急搬送患者の割合

※6 初診・再診患者のうち、他の医療機関に逆紹介した患者の割合

※7 紹介元医療機関数 / 医療圏総医療機関数